

# 学生のアクティビティ

今年のテーマ：ひらく

2020年、誰もが困難にぶつかり、私たちの日常生活は一変しました。そんな中でも花はひらくように、窓や戸を大きくひらくように、私たちは前を向いて突き進みます。

そして誰もが楽しめる微音祭を目指してよりひらかれた環境を作り上げます。

これまでの歴史や伝統を重んじながらもまた一つ新たなステージへ。2021年、私たちは微音祭の新時代を「ひらく」。



## 1 第72回微音祭のテーマや込められた想いについて教えてください。

今年度の微音祭テーマ「ひらく」から、皆さまは何を想像しますか? 「ひらく」という言葉には多くの意味がありますが、花や窓が「ひらく」ように希望に満ち溢れた様子、どなたにも楽しんでいただける「ひらかれた」環境づくり、向上心や挑戦心を持ち未来を「ひらく」姿勢など、様々な想いを込めています。

そしてこれらの想いを表現すべく、ロゴには花火のモチーフと窓がひらくデザインを取り入れました。和風な窓からモダンな色の花火が飛び出すデザインでは、伝統の中から未知の可能性が生まれるさまを表しています。先輩方が創りあげてきた微音祭をアップデートさせ、時代に合わせたより楽しめるコンテンツをお届けすることを目指し、委員一同、活動に邁進しています。1年という長い準備期間の末に打ち上げる大花火を、ぜひ皆さまの目でご覧いただければと思います。

ちなみに、微音祭には「きいちゃん」というとっても可愛い公式マスコットがいます。お茶大で生まれた妖精で、お茶大図書館や食堂の前によく出没するのだとか…!公式Twitterもあるので、気になる方はぜひチェックしてみてくださいね!



## 2 第72回微音祭の魅力を教えてください。

今年もお茶の水女子大学のミスコンテスト、「水コン」が開催されます。しかし、他大学では多様性やジェンダーの視点から次々とミスコンの中止が決定しており、本学でも水コン開催に対して批判的な意見も寄せられています。

ルッキズム<sup>※1</sup>を助長しているのではないが、意図的でなくても「理想の女性像」を観覧者に強制するのではないが、ファイナリストを性的消費の眼差しにさらしかねないのではないか、等の問題が挙げられました。その上で私たち水コン2021運営は、従来のミスコンがはらむそれらの問題に向き合い、解決することを目指しています。

そのために「開花宣言」という、新しい舞台であることを強調するコンセプトを掲げて多くの改革を行いました。例えば、長く連続的であるほどファイナリストの負担が大きくなるWeb投票期間を短くし、フィナーレでは6名全員に対して活動を讃える表彰を行います。また、名前を公表せずに審査するレポート企画やビブリオバトル<sup>※2</sup>等、昨年まではなかった企画を開催します。詳細は公式SNSアカウントにて発信しておりますが、他にも様々な改革を行います。

総務部局長  
小沢 花純 さん  
文教育学部  
人間社会学科3年



委員長  
土田 千夏 さん  
文教育学部  
言語文化学科3年

コンテスト長  
永野 帆乃佳 さん  
文教育学部  
人間社会学科3年

### ※1 ルッキズム (lookism)

人々容姿の美醜によって評価し、身体的魅力に富む人々を好む傾向を指す表現

### ※2 ビブリオバトル 公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分行う。
4. 全ての発表が終了した後「どの本が一番読みたくかったか?」を基準として投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャン本』とする。

※水コン2021では公式ルールを一部変更して行います。

11月13日(土)、14日(日)に開催される

お茶の水女子大学学園祭「微音祭」

微音祭実行委員の3人にインタビューをしました!

ホームページURL

<https://kiinsai.sakura.ne.jp/>

お茶の水女子大学 第72回微音祭「ひらく」

企画紹介

委員会企画



Twitter アカウント

お茶の水女子大学微音祭  
実行委員会72nd  
@kiin72nd

きいちゃん@お茶の水女子大学第72回微音祭  
@kichan\_kiinsai

Instagram アカウント

お茶の水女子大学微音祭  
@ocha.kiin



多くの学生が社会に対して問題意識を抱いているからこそ、これほどまでの熱い議論が行われるのでしょう。そんな本学で開催される水コン2021に、是非ご注目ください。

## 3 オンライン開催で工夫している点は?

昨年度の微音祭から、オンライン開催によって微音祭に参加できる人の幅が広がったことに気がきました。この「いつでもどこからでも気軽に参加できる」という点は、オンラインならではのメリットであると考えています。

こうしたメリットを活かすべく、オンライン開催では「より多くの方に楽しんでもらえる企画」を意識し、各担当で工夫を凝らして企画内容を練っています。コロナ禍以前は学生や地域の方が主なターゲットでしたが、自宅から家族全員で楽しんでいただけるように、それぞれの年代にあわせてバラエティ豊かな企画を用意しています。また、コロナ禍2回目の開催である今年は、「微音祭を交流の場にする」という目標にも挑戦しています。会いたい人にもなかなか会えない状況ですが、微音祭を通してお茶大生や参加者の方との交流を楽しんでもらえたらと考えています。ぜひご家族やご友人をお誘い合わせ

の上、ご参加いただけますと嬉しいです。

## 4 特におすすめの企画について紹介してください!

微音祭当日には、委員主催のものとは参加団体のものを合わせて30以上の企画が行われる予定です。バラエティに富んだ企画はどれも大注目です!

とはいえ、たくさん企画があるとどれから見たいのか悩む人も多はず。そこで、対象者別におすすめ企画をいくつか紹介します!

### ① 大学生向け企画

参加団体による企画・発表はもちろん、参加団体を表彰する「参加団体コンテスト」や、お茶大限定 Slack「Ochat」での参加型掲示板企画など、自宅から楽しめる企画が盛りだくさんです!また、Zoomで行われるクイズ大会「オチャリーグ」では、企画自体を楽しんでいただくはもちろん、ぜひ知性溢れるお茶大生のみなさんに参加していただき、一般の方々にお茶大生の魅力がお伝え出来ればと思います。様々な企画から、ぜひお気に入りの企画を見つけてみてください!

### ② 附属生・受験生向け企画

今年も受験生向けの企画として、「キャンパスツアー」や「模擬授業」、「受験生相談室」などの企画を用意しています。さらに今年初の企画「リモート合唱プロジェクト」では、有志のお茶大生から嵐の『果てない空』をお届けします!ぜひ勉強の合間にご覧いただけたらと思います!

### ③ 地域との連携企画

実地開催時にもご協力いただいた大塚警察署・小石川消防署のみなさまや、日本指圧専門学校のみなさまに、今年も引き続きご参加いただけます。お茶大生にぜひお伝えしたい防犯・防災情報や、どなたでも自宅で簡単にできるマッサージ方法などをお伝えします。生活のためになり、さらに地域とのつながりも感じられる企画をぜひそ



# 学生のアクティビティ